

スピリチュアリズムによる

靈性進化の道しるべ  
「シルバーバーチの靈訓」

(202)

第一章 死ぬことは悲劇ではありません

祈り

ああ、真白き大靈よ。

人間の記憶を絶する遠き太古の昔より、子等はあなたを、そしてあなたの意図を理解せんと努めてまいりました。嵐の中に、雷鳴の中に、稲光いなびかりの中にあなたの働きを想像したこともございました。

嫉妬ぶかき怒れる神、報復の機を窺い流血をよろこぶ神を想像したこともございました。ある者には力を授け、ある者には弱みを与え、ある者には勝利を与え、ある者には敗北を与える、えこひいき剥むき出しの神を想像したこともございました。自分の宗教のみの神を想像し、人間の有限性の範囲の中であなたを定義づけんとしたこともございました。

しかし、あなたの御名のもとに地上へ戻ってきたわたしどもは、あなたを全生命に宿る無限の靈——摂理として働き、摂理にのっとって顕現せる普遍的大靈として説いております。全生命に宿りたまひ、全生命を通して働き、その靈力なくしては何ものも存在しえぬ、無限絶対の靈として説き明かさんとしているところでございます。

あなたは生命現象のあらゆる相——いま物質の世界において知られている相のみならず、死後、靈の無数の界層において知ることになる、より次元の高い生命の相においても、あなたが顕現しておられることを説いております。

あなたは全生命の大靈におわします。あなたの知らしめされる全大宇宙においては、物質と靈との間に境界はございません。すべてを等しく支配しておられるのでございます。そして子等にあなたとの密接不離の絆、すなわち各自の内部に宿るあなたの分わけ靈の存在に気づかせ、その神性を認識することによってそれを生活の中で顕現させ、可能なかぎり崇高な体験を得させ、かくしてあなたの造化の大事業の道具となさしめんと意図しておられることを、わたしどもは説き明かさんとしているのでございます。

その目的のためにわたしどもは祈り、そして刻苦いたします。何とぞあなたの僕しもたるインディアンの祈りを聞き届けたまわんことを。

第二章 神はときには荒れ狂う嵐のごとく

祈り

ああ、真白き大靈よ。

わたしたちはあなたを永遠の生命のあらゆる現象の背後に働く無限の法則として説き明かさんとしております。古き時代にはあなたは歪められた眼鏡を通して見られておりました。嫉妬に狂う神、腹を立てる神、好戦的な神と思われたこともございました。

しかし、わたしたちは無限なる霊、あらゆる生命現象を通じて息づき、あらゆる自然法則の働きとしてご自身をお示しになっている存在として説き明かさんとしております。無限の叡智と理解力、愛と真理の大霊——弱き者、悩める者、挫折せる者を鼓舞することに精励する人々の生きざまを通じて顕現している大いなる霊として説くでございます。

ああ、大霊よ。

あなたはたった一冊の書物の中にいらっしゃるのではありません。たった一つの教会チャーチ、たった一つの寺院モスク、たった一つの神殿テンプル、たった一つの禮拜堂シナゴークの中にいらっしゃるのではありません。物質界の子等の有限なる理解力によって規定することも制約することも圧縮することもできない、廣大無辺の霊でいらっしゃいます。

とは申せ、あなたは断じて子等とは無縁の遠き存在ではございません。まさに子等の内奥にましますのです。あなたの分霊わけみたまとしてでございます。その分霊を通じてあなたはご自身を顕現なさらんとしておられるのでございます。子等の奉仕的生活を通じてあなたのご意志が発揮され、あなたの摂理が理解され、かくしてあなたの造化の大業の目的と同胞とのつながり、そしてあなたとのつながりについて子等が理解を深めるのでございます。

その理解の深まりとともに地上世界に新たな光明、新たな希望がもたらされます。平和が行きわたり、闘争が無くなり、利己主義が消え、悲しみが喜びに置き換えられ、生きるための必需品に事欠いていた人たちが真実の地上天国に生きることになるのでございます。

それがわたしたちが説き明かさんとしている大霊でございます。そのあなたの摂理を子等に教えんとしているのでございます。そ

れを理解することによってこそ子等は俯仰天地ひきようてんちに愧はじない生き方ができるのでございます。自らの力で束縛を解き放すことができますのでございます。奴隷のごとき卑屈な生き方を止め、膝を折つてあなたに媚びへつらうことなく、あなたからの生得の遺産を主張する——すなわちあなたのご意志を日常生活の中で発揮していく権利を堂々と主張できるのでございます。

### 第三章 わたしたちは決して見捨てません

#### 祈り

ああ、真白き大霊よ。

わたしたちに生命を賦与してくださったことに深く感謝いたします。なぜなら、それはわたしたちの霊をあなたの中へ融合させることによってわたしたちにもあなたが無窮の目的に参加することを可能ならしめ、あなたのご意志を顕現し、あなたの愛と叡智と真理と知識とを啓示する大事業のお手伝いをさせていただくことになるからでございます。

ああ、大いなる神よ。

わたしたちは宇宙に顕現せるあらゆる生命現象を通して啓示されているあなたの無限の相に対して感謝の言葉を捧げるものです。又わたしたちは“愛の橋”を通して“死の淵”を越える機会をお与えくださったことにも感謝の念を捧げます。

物的身体に宿る者であろうと霊の界層に生を営む者であろうと、あなたとあなたの子等のために進んで我が身を役立たせんとして

励む者に対する感謝の気持を、わたしたちは御前に捧げるものです。

又あなたの神性を生活の中で体現している人たち、また彼らの理想とするところ、彼らの気高さ、彼らの犠牲的献身が、彼らより低き進化の階梯にある者への靈的感化となっている人たちへの感謝の気持を御前に捧げます。

人類の歴史のあらゆる時代において子等に明かされた、あなたご自身ならびにあなたの無窮の目的についての啓示に対しても、わたしたちは御前に深甚なる感謝を捧げます。そのために捧げられた殉教と英雄的行為のすべて、先駆者ならびに改革者のすべて、同時代の同胞を高揚せんとして腐心した人たちのすべてに對する感謝の気持を御前に捧げます。

あなたからのインスピレーションを啓示し人類に靈的摂理を理解せしめんと努力した人たち、又、同じ地上に身を置くがゆえにこそ同胞に恩恵をもたらすことができた人たちのすべてに對する感謝の気持を御前に捧げます。

物的世界と靈の世界との通路となっている人々——たとえその多くは無意識であっても——永遠の生命の大目的についての理解を深めさせる上で力となっている人々のすべてに對する感謝の心を御前に捧げます。

あるいは教会、あるいは寺院と、その場所を異にし、さらには宗教と名のつくものを標榜することなく、ただひたすら己の内部の最高のものを發揮せんとしてあなたを求めている謙虚にして潔き人たちへの感謝を御前に捧げます。

ああ、真白き大靈よ。

地上の愛する者たち——あなたの子等に知識と真理とを授け自

らを靈的束縛から解放する方法を教えようとするわたしたちの仕事の忠実なる助力者たち——その人たちのために尽力することによってあなたに奉仕するこの機会をお与えくださったことに、わたしたちは感謝の意を捧げるものです。

願わくばこの交霊会ならびに他の交霊の場において行われることが人類により多くの知識を与え、それが友好と親善と平和の中での暮らしを生み、その暮らしの中で永遠の大靈たるあなたの無限の愛を發揮するようになる日の到来を一日でも早めることになりましように。

ここに、あなたの僕インディアンインディアンの祈りを捧げます。そしてこの祈りが一日も早く現実のものとならんことを。

#### 第四章 真理はすべて素晴らしいのです

##### 祈り

ああ、真白き大靈よ。

あなたの無限性を物質に閉じ込められている子等にどう説明すればよろしいのでしょうか。言語を超越しておられるあなた、いかなる尺度をもつても計ることのできないあなた、その叡智は地上のいかなる智者の叡智をも超越し、その愛はかつて地上で示されたすべての愛をも凌ぐ無限なる存在にあらせられるあなたを、わたしはどう説き明かせばよろしいのでしょうか。

全生命の光源におわしますあなた、あらゆる存在を通してその靈性を顕現しておられるあなた、物質の世界と靈の世界の区別な

く、生きとし生けるものすべてに見出すことのできるあなたを、わたしはいかに表現すればよろしいのでしょうか。

わたしは全大宇宙とそこに顕現せるものすべて——あらゆる活動の中に顕現している生命の律動リズムに目を向けさせます。昇っては沈みゆく太陽、夜空にきらめく星座、心地よく屋根をうつ雨音、ささやくような小川のせせらぎ、のどかな蜜蜂の羽音、風に揺れる可憐な花々、そして轟く雷鳴と闇を切り裂く稲妻に目を向けさせます。

かくして生命のあらゆる現象に向けさせたあと、わたしはそれがあなたとあなたの摂理の表現であることを確信をもって明言いたします。何となれば、あなたは摂理そのものにあらせられる——永遠にして不変の摂理として顕現されているからでございます。

その顕現の中でも、物質の世界よりも高度な次元に属するわたしたちは、その次元すなわち霊の世界において知れわたっている不変の因果律を教えるべく、こうして地上へもどってまいります。わたしたちはあなたを有るがままの存在として啓示し、物質に対する霊の優位性を立証し、あなたとわたしたち子等との霊的な絆を教え、物質の子等もあなたの一部であり、あなたの霊性がすべての子等に宿り常に表現を求めている事実を理解させたいと願っております。

ああ、真白き大霊よ。

わたしたちはあなたの叡智のお蔭をもって、内奥のより高き自我を呼び覚まして生命の大源たるあなたとの調和をもとめることをお許しくださいましたことに感謝の意を表します。神性を帯びたあなたの遺産を求めそして我がものとし、魂の内奥に潜む実在を見

出しているところでございます。

願わくばこの光の神殿（交霊会）において、これまで久しく忘れられながらも、あなたを求めた数少ない霊覚者にのみ明かされてきた霊的摂理のいくつかを立証することができますように。

ここに、人の役に立ち愛の摂理を立証することをのみ求める、あなたの僕インディアンインディアンの祈りを捧げます。

第五章 あなたが大霊なのです

## 祈り

ああ、真白き大霊よ。

あなたの無窮性、あなたの叡智、あなたの愛の豊かさ、あなたのインスピレーションの無上性をいかなる言葉に託すればよろしいのでしょうか。限りある物質の身体に包まれている地上の子等に、果てを知らず窮まることを知らない存在であるあなたを、いかに説き聞かせればよろしいのでしょうか。

これまで（キリスト教によって）嫉み深くて残虐性を好み、復讐すらしかねない神ゴッドとして「啓示された」と説かれてきたあなたを、わたしたちはどう啓示すればあなたの真実の姿を伝えることができるのでしょうか。

あなたは全生命の大霊にあらせられ、大自然のあらゆる現象を通して息づき、宇宙間の一つ一つの生命の中に顕現しておられます。

わたしたちは、これまでに賜ったあなたについての知識、物的

波長を超越し物的ペールを突き通す目をもって靈的真理を見ることのできる者に授けられた叡智を有り難く思います。より次元の高い波長を捉えることのできる耳によって、あなたから届けられる啓示を聞き、かつ又、愛と叡智と公正の権化としてのあなたを説くことができますことを、うれしく存じます。

ああ、神よ。

幾世紀にもわたって、いつの時代にもあなたの使者をよろこんで迎え入れる者を地上に用意してくださってきたこと、そして又、地上においてその暗黒の土地にあなたの真理を広め、無知と迷信の及びこる場所にあなたの光と知識とをもたらすための道具として、あなたのインスピレーションを的確に捉えることのできる者を用意してくださったことを有り難く存じます。

あなたの靈力の数少ない証言者として、あなたの子等を高揚し改革し感化し、地上世界の子等にとつて適切な住処すまかとするために尽力してきた人々の存在を有り難く思います。

又わたしたちは、この度あなたが再び悲劇と苦悩と悲哀に満ちた地上世界に、あなたの真理をもたらすための仕事をわたしどもに託してくださいましたこと、そして、あらゆる混乱と錯乱の中にあつて、子等を自らこしらえた泥沼から引き上げてあげる用意のできた者があなたの靈力によって満たされ、あなたの使者に守られてその靈力を行使できることを、うれしく存じます。

すべての宗教の本来の遺産であるべき靈的摂理に関する知識を地上へもたらさんと努力しているわたしたちは、二つの世界の間であなたの力が存分に往き来することを妨げるものすべてが排除され、迷信と無知と偏見と狭量と頑迷のペールが剥ぎ取られ、子等があなたの靈的真理の光の中に立つことができますよう祈りま

す。

願わくば子等が今あなたによってこの地上に置かれている目的、あなたから託されている仕事を認識し、その理解のもとに、お互いがお互いのために役立つことをするという形での生活に徹し、戦争のすべて、戦争のうわさ（予言）のすべて、恐怖心のすべて、敵意のすべて、暗黒のすべてを駆逐し、平和と豊かさに満ちた御国を招来することができますように。

ここに、子等に仕えることによってあなたに奉仕せんことを願う、あなたの僕インディアンインディアンの祈りを捧げます。

第六章 摂理は完全であり、自動的に作用します

## 祈り

ああ、真白き大靈よ。

全生命の裁定者にあらせられるあなた。『死』の存在しない御国の主にあらせられるあなた。わたしたちは、全てを包摂ほうせつして慈しまれ、大自然の法則の一大パノラマの中に顕現しておられるあなたを啓示せんと務めている者たちでございます。

わたしたちはあなたを完全なる公正と叡智の大靈、全生命に潜在し、生きとし生けるもの全てに表現されている存在として啓示いたします。

ああ、大靈よ。あなたは無窮にして無限、子等の理解力を超えた存在にあらせられます。しかし、それでもなおあなたを知ることは可能でございます。なぜならあなたは、物質の次元と靈の次

元の区別なく、あらゆる生命の相に顕現しておられるからでございます。

あなたは小鳥のさえずりの中に存在します。夜空の星のまたたきの中に、雨滴のきらめきの中にあなたを見ることができません。小川のせせらぎの中に、ミツバチの羽音の中に、風に揺れる木々の枝の中にいらっしやいます。轟く雷鳴の中にも大海の怒濤の中にもあなながいらっしやいます。またあなたは昇りゆく太陽の中にも淡い月の光の中にもいらっしやいます。

あなたは生命のすべての相の中におられます。しかし、人間の靈性があなたの愛と善性とを奉仕と自己犠牲と理想主義の行為の中に顕現せんとして躍動する時、最もあなたに近い形でその存在をお示しになられます。

靈の世界から派遣されたあなたの使者であるわたしどもは、かつて限られた少数の人間のみで啓示され、今は物的領域を超えてあなたの計画を垣間見ることのできる者すべてに啓示されつつある摂理の働きを、あなたの働きそのものとして啓示せんとしていくところでございます。

物質の束縛を解かれ、今はより大きな世界において生命活動を営んでいるわたしどもは、あなたの法則にのっとり地上へ舞い戻り、愛は消えることなくいつまでも相手を捜し求めるものであることを教え、慰めと確信、導きと希望、知識と靈感、叡智と真理を地上の同胞にもたらさんとしていくところでございます。

かくして離別の悲しみと愛による再会という体験の中で、あなたの子等は内在するあなたの靈性を認識するようになり、靈界からの鼓舞を受けてあなたの道具として献身し、苦しむ者を救い、あなたの靈性を日常生活の中で發揮し、すべての者にあなたの御

心をもって接するようになることでございます。

わたしたちもその御心を体して地上へ戻り、いずこにおいても手助けすることを心がけ、地上の全人類を結びつけている靈的な絆を強化し、全生命の背後の一体性を認識せしめんとしているところでございます。

願わくばあなたの御力が地上におけるあなたの神殿たらんと志す全ての通路を通して顕現し給わんことを。

ここにあなたの僕インディアンへの祈りを捧げます。

## 第八章 絶望してはなりません

### 祈り

ああ、真白き大靈よ。

あなたの愛の崇厳さ、あなたの叡智の無限性、あなたの真理とインスピレーションの豪華さはどう表現すればよろしいのでしょうか。あなたは全生命の大法則——宇宙に展開する大パノラマの中に顕現している極大の生命も、想像を絶する極微の生命も包摂する大摂理にあらせられます。

あなたの摂理は生命のあらゆる現象を通して絶対的に支配しております。摂理としてすべての存在の中に表現されており、何一つとしてあなたを離れては存在し得ぬのでございます。昇っては沈む太陽の美しさの中に、淡い月の光の中に、夜空に輝く星の光の中に、小鳥のさえずりの中に、風にそよぐ花や松の梢に、小川のせせらぎに、そして寄せては返す大海のうねりの中にあなたが

存在したまうのでございます。

又あなたは稲妻の中にも雷鳴の中にもいらつしやいます。上にも下にも内にも外にもいらつしやいます。あなたは生命の大霊にあらせられ、すべての愛、すべての力、すべての現象があなたに包摂されているのでございます。

さて、あなたの道具としてあなたからのメッセージを託されたわたしたちは、今なお肉の宮に閉じ込められている子等があなたの霊性の領域を見出し、彼らもあなたの霊の一部にほかならぬこと、彼らの一人ひとりあなたにあなたの分霊が吹き込まれている事実を認識せしむべく、あなたの真実の姿を説き明かしたく存じます。

ああ、大霊よ。

暗闇と混とん、不信と嫉妬心、猜疑心と争いに満ちたこの地上にあつて、わたしたちは、あなたの啓示の水門が開かれて霊の威力が、あなたのメッセージを地上の全民族へもたらさんとしている善意と愛に満ちた同志に届けられ、人類が一国の利害を超えてお互いのために生きそして地上にあなたの御国を実現する、その理想へ一歩でも近づいてくれることを祈るものです。

願わくばあなたのインスピレーションを受ける通路チャンネル（霊媒・霊覚者）が俗信に捉われず俗物に汚されることなく、彼らを通じてあなたのメッセージがふんだんに流入して、ますます多くの子等があなたの真理のイルミネーションの中へ導かれんことを。

また願わくば子等が自分を包む霊力の何たるかをますます認識することになりますように。

願わくば子等が、これまでも彼らにインスピレーションと導きを受け、人に役立つ道を歩ませてきたあなたの強大なる威力（背後霊）の存在に気づき、内在するあなたの霊性を存分に発揮する

ことになりますように。

## 第九章 霊は全生命の精髓エッセンスです

### 祈り

これよりわたしは全生命の大霊にお祈りを捧げます。その輝きがわれわれの全存在を満ちし、その光がわれわれの進む道を照らし、その愛がわれわれの心を通じて流れ、その意志をわれわれの意志とせんがためです。

霊の世界と物質の世界とのつながりをより緊密なものとし、物質の世界に住める者が永遠の霊的真理についての理解をより一層深める上での障害と制約のすべてを取り除こうとするわれわれに、大霊の強大なる霊力を授けていただくために、わたしはこれよりお祈りを捧げます。

大霊よ、わたしたちは人類の永き歴史において澄み切った霊視力と霊聴力をそなえた霊能者、予言者、先見者、そして賢人・聖人を通して啓示されてきたあなたの霊力を今改めて地上へ届けることと努力しているところでございます。それを豊富に顕現せしめることによって、今なお無知と煩惱の暗闇の中にいる人々の心を鼓舞し、魂を奮立たせて、真実の自由と悟りをもたらさんとしているのでございます。

わたしたちは霊的真理と霊的叡智と霊的知識の光明を、それを必要とする人たちにもたらし、その高級界の影響力によって勇気づけられ鼓舞され元気づけられて、彼らが一層の改革に精励し、

あなたがふんだんに用意なさっておられる恩恵が子等に等しく行きたるのを妨げている不正・不公正・障害物のすべてを取り除くことができるようにと刻苦しているところでございます。

わたしたちは真理と自由と公正の道に立ちあはだかる既得権力のすべてに闘いを挑みます。地上の汚点ともいうべき混とんと病いと苦しみと飢えを無くするためです。そうしたものは本来あなたのご計画の中には存在せず、権力を握る者たちがその自由意志の行使を誤り、あなたのご意志にそった使い方をしていないがために生じているのでございます。

わたしたちは善意の人々、人のために役立つたいとの願いを抱く者のすべてを結束させんと努力いたしております。受け入れる用意のある者、あなたの御国を生命の全界層に実現せしめんとして努力する者のすべてに、わたしたちのメッセージをもたらしたいと願っております。

その目的のためにわたしたちは祈り、そして刻苦します。何とぞあなたの霊力が常にわたしたちを導き、一層の奉仕へ向けて鼓舞したまわんことを。

ここに、人に役立つことをのみ願うあなたの僕インディアンの祈りを捧げます。

## 第十章 創造は無窮です

### 祈り

皆さんとともに生命の大霊の祝福を祈願いたしましょう。

ああ、真白き大霊よ。

宇宙の森羅万象があなたへの賛歌を奏でております。あなたの法則があらゆる生命現象を支え、律動の一つひとつがあなたの表現なのでございます。

ああ、大霊よ。

あなたは全生命の中心にあらせられます。それは霊の世界の最高の界層においても、物質の世界の最低の界層においても、少しも違いはございませぬ。あなたはすべてを包摂したまいます。あなたの叡智がすべてを支配しているからでございます。

あなたはいつの時代にもあなたの愛と叡智と知識の使者を物質の世界へ送り込まれてきました。あなたの霊の生きた証あかしとして、あなたの真理の光を人間の心の暗闇に届け、全人類をあなたの無限なる叡智と愛の輝きによって啓蒙するためでございます。

ああ、大霊よ。

あなたはこの度ふたび地上の子等にあなたとあなたの摂理についての知識を届けんがために、わたしどもをあなたの使者として遣わされました。それによって彼らがあなたとのつながりを理解し、そこから彼ら自身ならびに、あなたが彼らを物質の世界に誕生せしめた目的を理解しはじめることになればとの配慮からでございます。

わたしたちは、地上にあつてあなたの霊的な働きかけに敏感に反応し、その目、その耳、その精神、その心、その魂がより大きな生命の波長に順応し、わたしたちを通じて届けられるあなたのメッセージを素直に受け入れてくれる人たちとの交わりを今こうして得ていることを、あなたに深く感謝申し上げます。